

(令和7年度予算分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 千葉県東庄町
 本事業の担当部局名 健康福祉課 子育て支援係

事業メニュー	ライフデザイン・結婚支援重点推進事業							
区分	重点メニュー							
関連事業メニュー	1.2.2 若い世代の描くライフデザイン支援							
個別事業名	小中学生を対象とした乳幼児ふれあい体験学習					新規／継続 (一般財源での実施も含む)	継続	
実施期間	令和8年4月1日		～	令和9年3月31日		事業開始年度	令和6年度	
総事業費(A)(円)	300,000		寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0		差引額(A-B)(円)	300,000	
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額	300,000							
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費	
	総事業費	0	0	0	0	0	0	
	対象経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	区分	委託料	使用料及び賃借料	負担金	補助金		計	
	総事業費	300,000	0	0	0		300,000	
	対象経費支出予定額	300,000	0	0	0		300,000	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0		0	
	○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
	自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け	<p><自治体における少子化対策の全体像>※全事業共通 これまで子育ての環境への支援として、出産時や入学時への祝金や高校生までの医療費の免除等を行ってきたが、令和6年度の出生数は32人であり、毎年減少している。また令和8年2月1日現在の年少人口は964人で全体の7.8%しかなく、早急な少子化対策が急務となっている。 また、学生時代から将来のライフプランを考える場を提供することも重要であると考え、中学生と乳幼児のふれあい体験を実施し始めた。</p> <p><本個別事業の位置付け> 乳幼児と直接触れ合う体験をすることにより、命の大切さや、乳幼児との関わり方等について学び、結婚・子育てについての理解を深める。</p>						
個別事業の内容	番号	項目	内容					
	1	小中学生を対象にした乳幼児ふれあい体験学習の実施	<p>小中学生を対象に地域の乳幼児とふれあうことが出来る学習時間を提供するため、委託により次のとおりふれあい体験学習を実施する。</p> <p>【ふれあい体験学習】 小学校5年生と中学校3年生を対象に、1クラスにつき10組の親子(乳幼児とその養育者)がふれあう。 また、子育て支援センターの保育士による講話や養育者との対話の時間を設定する。 ・開催回数 小学校3回 中学校3回 ・参加予定人数 各回35人前後を想定</p>					
<p><過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)> 【課題】 地域の保護者の協力が必要不可欠ではあるが、産まれてくる子の数が少ない中で、協力者を確保しつづければならない。 【分析】 地域全体での出生数が減少したなかで、支援センターを利用している人が主な協力者になっている。この支援センターの周知活動等が協力者の増加につながるのではないかと思う。 【取り組み】 広報誌等で支援センターの周知を行う。町内にあるもう1つの支援センターにも協力を要請する等で協力者の人数</p>								

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	婚活応援事業を介した結婚組数		組	累計9 (R11年度)	累計3 (R5年度)
	婚活応援事業への参加人数		人	30 (R11年度)	13 (R5年度)
	結婚新生活支援事業助成件数		件	累計30 (R11年度)	累計6 (令和5年度)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.24 (R6年)	
	婚姻件数		件	14 (R6年)	
	婚姻率			1.1 (R6年)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	①	ふれ合い体験学習に参加した生徒数	人	150 (R8年度)	164 (R7年度実績)
	②	ふれ合い体験学習に参加した親子数	組	60 (R8年度)	66 (R7年度実績)
	③				
	④				
	⑤				
		(アウトカム)			
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	80 (R8年度)	90 (R7年度実績)
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	-	-
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	80 (R8年度)	80 (R7年度)
	④				
	⑤				
⑥					
⑦					
⑧					

(令和7年度予算分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 千葉県東庄町
 本事業の担当部局名 総務課 企画係

事業メニュー	ライフデザイン・結婚支援重点推進事業							
区分	一般メニュー							
関連事業メニュー	1.1.3 出合いの機会・場の提供に関する取組							
個別事業名	婚活イベント				新規／継続 (一般財源での実施も含む)		継続	
実施期間	令和8年4月1日	～	令和9年3月31日		事業開始年度		令和3年度	
総事業費(A)(円)	600,000	寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0		差引額(A-B)(円)		600,000	
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額	600,000							
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費	
	総事業費	0	0	0	0	0	0	
	対象経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	区分	委託料	使用料及び賃借料	負担金	補助金		計	
	総事業費	600,000	0	0	0		600,000	
	対象経費支出予定額	600,000	0	0	0		600,000	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0		0	
	○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
	自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け	<p><自治体における少子化対策の全体像>※全事業共通 これまで子育ての環境への支援として、出産時や入学時への祝金や高校生までの医療費の免除等を行ってきたが、令和6年度の出生数は32人であり、毎年減少している。また令和8年2月1日現在の年少人口は964人で全体の7.8%しかなく、早急な少子化対策が急務となっている。 また、学生時代から将来のライフプランを考える場を提供することも重要であると考え、中学生と乳幼児のふれあい体験を実施し始めた。</p> <p><本個別事業の位置付け> 東庄町結婚支援センターの運営を行い、登録者の出合いの場の創出や周知を行う。 また、婚活セミナーやイベントを実施する。</p>						
個別事業の	番号	項目	内容					
	1	婚活イベント・スキルアップセミナーの開催	<p>婚活イベントの開催 町認定婚活サポーター・結婚支援ボランティア主導の婚活イベントを開催し、男女の出合いの場を提供する。 ・場所 町内 ・人数 10人(1回)(男5人、女5人) ・回数 5回 ・内容 参加者が集まりやすい内容日時を検討し、実施していく。</p> <p>【婚活イベントと有機的に連携する取組(2つ)】 ●スキルアップセミナー 食事マナーやTPOに合わせた服飾についてのスキルアップセミナーを開催する。 ●結婚支援センターへの登録促進 HPやチラシにより、結婚支援センターへの登録の促進を促す。</p>					

内容	<過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)> 【課題】 ・参加者を集めるのが大変である。 ・参加者の年齢の幅や結婚に対する意識の低さが目立つ。 【分析】 市町村が「婚活」という単語で行う事業は、マッチングアプリや民間の婚活、合コン等への参加が心理的に難しい方の一種「結婚のセーフティネット」のようにになっている。年齢幅を狭める、参加のハードルを下げる、周知を広げて参加者を増やすことで、意識の低い人が目立たないイベントになると思われる。 【取り組み】 今までは、広報誌での周知が主だったが、婚活専用サイトの立ち上げや、インスタグラムでの周知を行う。また県のライフデザイン事業を利用し、他市町村への周知を依頼する。																																																																																							
	少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	<table border="1"> <thead> <tr> <th>KPI項目</th> <th>単位</th> <th>目標値(時点)</th> <th>現状値(時点)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>婚活応援事業を介した結婚組数</td> <td>組</td> <td>累計9 (R11年度)</td> <td>累計3 (R5年度)</td> </tr> <tr> <td>婚活応援事業への参加人数</td> <td>人</td> <td>30 (R11年度)</td> <td>13 (R5年度)</td> </tr> <tr> <td>結婚新生活支援事業助成件数</td> <td>件</td> <td>累計30 (R11年度)</td> <td>累計6 (令和5年度)</td> </tr> </tbody> </table>	KPI項目	単位	目標値(時点)	現状値(時点)	婚活応援事業を介した結婚組数	組	累計9 (R11年度)	累計3 (R5年度)	婚活応援事業への参加人数	人	30 (R11年度)	13 (R5年度)	結婚新生活支援事業助成件数	件	累計30 (R11年度)	累計6 (令和5年度)																																																																						
KPI項目	単位	目標値(時点)	現状値(時点)																																																																																					
婚活応援事業を介した結婚組数	組	累計9 (R11年度)	累計3 (R5年度)																																																																																					
婚活応援事業への参加人数	人	30 (R11年度)	13 (R5年度)																																																																																					
結婚新生活支援事業助成件数	件	累計30 (R11年度)	累計6 (令和5年度)																																																																																					
参考指標 ※全事業共通	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>単位</th> <th>直近の実績値(時点)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>合計特殊出生率</td> <td></td> <td>1.24 (R6年)</td> </tr> <tr> <td>婚姻件数</td> <td>件</td> <td>14 (R6年)</td> </tr> <tr> <td>婚姻率</td> <td></td> <td>1.1 (R6年)</td> </tr> </tbody> </table>	項目	単位	直近の実績値(時点)	合計特殊出生率		1.24 (R6年)	婚姻件数	件	14 (R6年)	婚姻率		1.1 (R6年)																																																																											
項目	単位	直近の実績値(時点)																																																																																						
合計特殊出生率		1.24 (R6年)																																																																																						
婚姻件数	件	14 (R6年)																																																																																						
婚姻率		1.1 (R6年)																																																																																						
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">KPI項目</th> <th>単位</th> <th>目標値(時点)</th> <th>現状値(時点)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>番号</td> <td>項目</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="5" style="text-align: center;">(アウトプット)</td> </tr> <tr> <td>①</td> <td>婚活イベントへの参加者数(イベント1回あたり)</td> <td>人</td> <td>10 (R8年度)</td> <td>10 (R7年度見込み)</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>④</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="5" style="text-align: center;">(アウトカム)</td> </tr> <tr> <td>①</td> <td>交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)</td> <td>%</td> <td>70 (R8年度)</td> <td>70 (R7年度見込み)</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)</td> <td>%</td> <td>70 (R8年度)</td> <td>70 (R7年度見込み)</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)</td> <td>%</td> <td>50 (R8年度)</td> <td>50 (R7年度見込み)</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑦</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑧</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)	番号	項目				(アウトプット)					①	婚活イベントへの参加者数(イベント1回あたり)	人	10 (R8年度)	10 (R7年度見込み)	②					③					④					⑤					(アウトカム)					①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	70 (R8年度)	70 (R7年度見込み)	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	70 (R8年度)	70 (R7年度見込み)	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	50 (R8年度)	50 (R7年度見込み)	④					⑤					⑥					⑦					⑧						
KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)																																																																																				
番号	項目																																																																																							
(アウトプット)																																																																																								
①	婚活イベントへの参加者数(イベント1回あたり)	人	10 (R8年度)	10 (R7年度見込み)																																																																																				
②																																																																																								
③																																																																																								
④																																																																																								
⑤																																																																																								
(アウトカム)																																																																																								
①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	70 (R8年度)	70 (R7年度見込み)																																																																																				
②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	70 (R8年度)	70 (R7年度見込み)																																																																																				
③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	50 (R8年度)	50 (R7年度見込み)																																																																																				
④																																																																																								
⑤																																																																																								
⑥																																																																																								
⑦																																																																																								
⑧																																																																																								

(令和7年度予算分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 千葉県東庄町
 本事業の担当部局名 総務課 企画係

事業メニュー	結婚_妊娠_出産_子育てに温かい社会づくり・気運醸成事業							
区分	一般メニュー							
関連事業メニュー	3.1.1 その他、結婚、妊娠・出産、子育てに温かい社会づくり・気運醸成事業							
個別事業名	ライフデザイン支援講座					新規/継続 (一般財源での実施も含む)	新規	
実施期間	令和8年4月1日		～	令和9年3月31日		事業開始年度	令和8年度	
総事業費(A)(円)	200,000		寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0		差引額(A-B)(円)	200,000	
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額	200,000							
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費	
	総事業費	0	0	0	0	0	0	
	対象経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	区分	委託料	使用料及び賃借料	負担金	補助金		計	
	総事業費	200,000	0	0	0		200,000	
	対象経費支出予定額	200,000	0	0	0		200,000	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0		0	
	○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
	自治体における少子化対策の全体像及びその本個別事業の位置付け	<p><自治体における少子化対策の全体像> ※全事業共通 これまで子育ての環境への支援として、出産時や入学時への祝金や高校生までの医療費の免除等を行ってきたが、令和6年度の出生数は32人であり、毎年減少している。また令和8年2月1日現在の年少人口は964人で全体の7.8%しかなく、早急な少子化対策が急務となっている。 また、学生時代から将来のライフプランを考える場を提供することも重要であると考え、中学生と乳幼児のふれあい体験を実施し始めた。</p> <p><本個別事業の位置付け> 乳幼児とふれあう体験や子育て世帯との意見交換を含む講座を開催する。</p>						
個別事業の内容	番号	項目	内容					
	1	ライフデザイン支援講座の開催	希望者(妊娠を望んでいる20代から30代の夫婦)がライフデザイン支援講座を受けられるように体制を整える。 場所: 町内 回数: 希望に応じて、開催し、各組1回とする。 予定組数: 5組 内容: 先輩ママや保育士からの講座を受講。実際に赤ちゃんに触れる機会も提供できるようにする。					
<過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)>								

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	婚活応援事業を介した結婚組数		組	累計9 (R11年度)	累計3 (R5年度)
	婚活応援事業への参加人数		人	30 (R11年度)	13 (R5年度)
	結婚新生活支援事業助成件数		件	累計30 (R11年度)	累計6 (令和5年度)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.24 (R6年)	
	婚姻件数		件	14 (R6年)	
	婚姻率			1.1 (R6年)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	①	支援講座の受講者	組	5 (R8年度)	---
	②				
	③				
	④				
	⑤				
		(アウトカム)			
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	70 (R8年度)	---
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	-	-
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	50 (R8年度)	50 (R7年度見込み)
	④				
	⑤				
⑥					
⑦					
⑧					

(令和7年度予算分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 千葉県東庄町
本事業の担当部局名 総務課 企画係

事業メニュー	結婚・妊娠・子育ての相談機会提供・支援プログラム							
区分	一般コース							
関連事業メニュー	4.1 結婚・妊娠・子育ての相談機会提供・支援プログラム(一般コース)							
個別事業名	東庄町結婚新生活支援事業	新規/継続 (一般財源での 実施も含む)	継続					
実施期間	令和8年4月1日	~	令和9年3月31日	事業開始年度	令和4年度			
総事業費(A)(円)	2,400,000	寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0	差引額(A-B)(円)	2,400,000			
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額	2,400,000							
費用内訳(円)	個別事業の内容のとおり							
自治体における少子化 対策の全体像及びその 中での本個別事業の位 置付け	<p><自治体における少子化対策の全体像>※全事業共通 これまで子育ての環境への支援として、出産時や入学時への祝金や高校生までの医療費の免除等を行ってきたが、令和6年度の出生数は32人であり、毎年減少している。また令和8年2月1日現在の年少人口は964人で全体の7.8%しかなく、早急な少子化対策が急務となっている。 また、学生時代から将来のライフプランを考える場を提供することも重要であると考え、中学生と乳幼児のふれあい体験を実施し始めた。</p> <p><本個別事業の位置付け> 結婚新生活支援事業を実施し、経済的不安から結婚に踏み切れない層に対して補助を行うもの。</p>							
個別事業の内容	1. 概要							
	【対象費用】							
	<input type="radio"/>	住宅取得費用	<input type="radio"/>	住宅リフォーム費用	<input type="radio"/>	住宅賃借費用	<input type="radio"/>	引越費用
	【補助対象要件】 原則として国基準とし、自治体独自基準による場合は当該欄に記載							
	所得要件	国基準	夫婦の合計所得が500万円未満					
		自治体独自基準						
	年齢要件	国基準	夫婦ともに婚姻日における年齢が39歳以下の世帯					
		自治体独自基準						
	【補助上限額】 原則として国基準とし、自治体独自基準による場合は当該欄に記載							
	29歳以下 の場合	国基準	各費用に係る合計が60万円					
自治体独自基準								
39歳以下 の場合	国基準	各費用に係る合計が30万円						
	自治体独自基準							
【その他独自要件】								
市町村税の滞納が無いこと								

2. 申請見込

①新規世帯見込

5	世帯
---	----

 上記のうち

ともに29歳以下	3	世帯
その他	2	世帯

②継続補助世帯見込

0	世帯
---	----

 (継続補助規定の有無)

有

【世帯数積算根拠】

29歳以下:3世帯(申請見込)×60万(補助上限額)=1,800千円
 ・3世帯については令和4年の夫婦ともに婚姻日における年齢が29歳以下の婚姻件数10件のうち、所得500万円未満の世帯数を税務担当において確認し、算出。
 上記以外:2件(申請見込)×30万(補助上限額)=600千円
 ・2世帯については令和4年の夫婦ともに婚姻日における年齢が39歳以下(ともに29歳以下を除く)の婚姻件数6件のうち、所得500万円未満の世帯数を税務担当において確認し、算出。

(参考)

【令和7年度申請状況】

実施中

 (申請世帯数見込

3	世帯
---	----

 ~12月(実績)

2	世帯
---	----

 1月~3月(見込)

1	世帯
---	----

)

【金額積算根拠】

<上限額>		<左記の上限額の合計を使用しない場合の積算>	
(29歳以下)	3 世帯 × 600,000 円 =	1,800,000 円	
(その他)	2 世帯 × 300,000 円 =	600,000 円	
	(継続補助)	0 円	
	合計	2,400,000 円	

3. 広報の実施予定

町ホームページやSNSを活用して広報を行う。また婚姻届を提出した世帯へもチラシを配布するなどして周知する。

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	婚活応援事業を介した結婚組数		組	累計9 (R11年度)	累計3 (R5年度)
	婚活応援事業への参加人数		人	30 (R11年度)	13 (R5年度)
	結婚新生活支援事業助成件数		件	累計30 (R11年度)	累計6 (令和5年度)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.24 (R6年)	
	婚姻件数		件	14 (R6年)	
	婚姻率			1.1 (R6年)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
	(アウトプット)				
	①	支給世帯実績/支給見込世帯数の割合	%	35 (R8年度)	14 (R6年度)
	(アウトカム)				
	①	結婚・妊娠・子育ての相談機会提供・支援プログラムに関するアンケートにおける「本事業の認知度」	%	80 (R8年度)	50 (R6年度実績)
②	結婚・妊娠・子育ての相談機会提供・支援プログラムに関するアンケートにおける「地域に応援されていると感じた世帯の割合」	%	80 (R8年度)	100 (R6年度実績)	